

A

2026(令和8)年度入学試験 世一A一問

歴史総合，世界史探究

(注意：解答はすべて所定の解答用紙に記入すること)

1. この問題冊子は，10 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を高く挙げて監督者に知らせてください。

2. 設問中，「番号をマークせよ」と指示されている場合は，**マークシート解答用紙**

数学以外共通 に，指示がない場合は記述式解答用紙に記入すること。

マークシート解答用紙の記入にあたっては，次のことに注意すること。

- ① マークはHB，又はBの鉛筆(シャープペンシル可)を使うこと。ボールペン，サインペン等はたとえ黒であっても使用しないこと。
- ② マークシート解答用紙は電算機にかけるので，折りまげたり汚したりしないこと。
- ③ 間違ってマークした場合は，消しゴムできれいに消してからマークしなおすこと。
- ④ マークは次に示すように枠内を黒く塗りつぶすこと。

※ マークのつけ方の正しい例 (3を解答する場合)

① ② ● ④

※ マークのつけ方の悪い例

① ② ③ ④

3. マークシート解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので，それぞれ正しく記入すること。正しく記入されていない場合，又は正しくマークされていない場合は，採点できないことや0点になることがあります。

- ① 受験科目欄：「世界史」にマークすること。
- ② 氏名欄：氏名・フリガナを記入すること。
- ③ 座席番号欄：座席番号を記入し，さらにその下のマーク欄にマークすること。

〔 I 〕 次の文章 A、B を読み、それぞれの設問について、最も適当な解答を一つ選び、その番号をマークせよ。

A ゲルマン人の大移動の後の混乱の時代に西ヨーロッパの商業と都市は衰え、農業に依存するようになった。またノルマン人などの外部勢力の侵入から身を④守るために人々は強者の保護をもとめた。こうして封建的主従関係の上に成り立つ社会が成立した。西ヨーロッパの農民の多くは農奴^①であった。領主は農奴^③を外敵から保護し、農業の発展を支えた。

十字軍の遠征をきっかけに西ヨーロッパでは商業と都市が発展した。これらの都市のいくつかは、ドイツの のように自治権を獲得したのもあった。そして都市の間で同盟が結ばれた。都市の中心部には教会が建てられた。西ヨーロッパ世界では農業技術の進歩により、人口も増え、 以東への などによる東方植民が行われた。 のイスラーム勢力^①からの国土回復運動、聖地巡礼など外に向けて西ヨーロッパ世界は拡大した。自治都市の運営の基礎となったのはギルドであった。都市の上層市民^⑧のなかには、西ヨーロッパ全体の政治権力に影響を与えるものもあらわれた。

問 1 下線部④について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は□。

- ① ゲルマン人の一派であった。
- ② ヨーロッパに侵入したスラヴ人の別称であった。
- ③ 両シチリア王国を滅ぼした。
- ④ イスラーム勢力であった。

問 2 下線部㉑について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は②。

- ① 士大夫制度から発展した。
- ② 主君が契約に違反しても家臣は主君に服従した。
- ③ 一人で複数の主君を持つことができた。
- ④ 騎士と農奴の間で結ばれた。

問 3 下線部㉒について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は③。

- ① 不輸不入の権をもっていた。
- ② 領主に結婚税を支払った。
- ③ 死亡時に領主から金銭を受け取った。
- ④ 軍役の義務を負った。

問 4 空欄 **ア** に入る最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は④。

- ① 自由都市 ② コムーネ ③ 港市国家 ④ コミューン

問 5 下線部㉓について述べた次の①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑤。

- ① 北イタリアのハンザ同盟 ② 南ドイツのエトレヒト同盟
- ③ 北イタリアのロンバルディア同盟 ④ オランダのコリントス同盟

問 6 下線部㉔について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑥。

- ① シャルトル大聖堂は、ドイツ北部に建てられた。
- ② シュパイアー大聖堂は、ゴシック様式の代表的建築物である。
- ③ モワサックの教会は、ゴシック様式の彫刻で知られている。
- ④ ランス大聖堂で歴代フランス王の戴冠式が行われた。

問 7 空欄 **イ** に入る最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は⑦。

- ① エルベ川 ② ライン川 ③ ポー川 ④ セーヌ川

問 8 空欄 **ウ** に入る最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は**8**。

- ① コサック ② イェニチェリ ③ シパーヒー ④ ドイツ騎士団

問 9 空欄 **エ** に入る最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は**9**。

- ① ユトランド半島 ② スカンディナヴィア半島
③ ユカタン半島 ④ イベリア半島

問10 下線部⑩について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は**10**。

- ① 1492年にナスル朝が滅亡した。
② 8世紀半ばにムラービト朝が成立した。
③ 最後のイスラーム王朝はアラゴンであった。
④ イスラーム勢力最後の拠点のコルドバであった。

問11 下線部⑪について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は**11**。

- ① 戦士階級のギルドが中心となって自治にあたった。
② 手工業者が職種別の同職ギルド(ツunft)をつくった。
③ はじめは職人ギルドが市政を独占していた。
④ 大商人を中心とした同職ギルド(ツunft)は、遠隔地貿易に従事した。

問12 下線部⑫について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は**12**。

- ① メディチ家はアウクスブルクの銀行の成功から発展した。
② フッガー家はフィレンツェの政治を支配した。
③ フッガー家は神聖ローマ皇帝に融資した。
④ メディチ家は14世紀に一族から神聖ローマ皇帝を出した。

B 西ローマ帝国滅亡後、東ヨーロッパ世界ではビザンツ帝国が栄え、『ローマ法大全』が編纂された。そして独自のビザンツ文化を発展させた。だが、ユスティニアヌス大帝の死後、その勢力は衰え、北イタリアを **オ** に奪われた。さらに多くの異民族がビザンツ帝国領内に侵入した。ビザンツ帝国はこうした異民族に対抗するために、テマ制を採用した。ビザンツ帝国は軍制改革により力を取り戻そうとしたが失敗し、11世紀後半にはセルジューク朝の侵入を受けた。再び軍制改革が模索され、11世紀末にプロノイア制が導入されたが、かつての勢いは失われた。

問13 下線部①について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は13。

- ① オドアケルに滅ぼされた。
- ② ゲルマン諸国家はビザンツ皇帝の権威を認めなかった。
- ③ ビザンツ帝国は1453年まで続いた。
- ④ ラテン語が唯一の公用語とされ続けた。

問14 下線部①について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は14。

- ① トリボニアヌスらが編纂した。
- ② 部族法としての性格を強めていった。
- ③ 本来ローマ市民を対象としない法だった。
- ④ 後に万民法としての性質を失っていった。

問15 下線部②について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は15。

- ① 聖母子像などを描いたロマネスク美術が生まれた。
- ② ギリシア古典文化とギリシア正教の融合によって生まれた。
- ③ 頭部のとがった尖頭アーチと高くそびえる塔を特色とするビザンツ様式が流行した。
- ④ ラテン文化とカトリックの融合によって生まれた。

問16 下線部㉑について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は16。

- ① 中国から養蚕^{ようさん}の技術を取り入れた。
- ② サン＝ピエトロ大聖堂を建立した。
- ③ ローマ帝国の最大版図を実現した。
- ④ 西ゴート王国を滅ぼした。

問17 空欄 に入る最も適当なものを、次の①～④のなかから一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は17。

- ① ヴァンダル
- ② アングロ＝サクソン
- ③ ササン朝
- ④ ランゴバルド

問18 下線部㉒について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は18。

- ① 11世紀にバルカン半島にロシアが進出した。
- ② スラヴ人の進出でシリアとエジプトを失った。
- ③ 中央ユーラシアからトルコ系のブルガール人が進出した。
- ④ ゲルマン人の進出でバルカン半島の大部分を失った。

問19 下線部㉓について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は19。

- ① 小土地所有の自由農民が減少した。
- ② 軍管区を廃止し、帝国領内を統一した。
- ③ 農民の兵役義務を免除するために、屯田兵制を廃止した。
- ④ 司令官に軍事と行政の両方の権限を与えた。

問20 下線部㉔について述べた次の文①～④のなかから最も適当なものを一つ選び、その番号をマークせよ。解答番号は20。

- ① 軍役奉仕と引き換えに貴族に領地を与えた。
- ② 自由農民は大土地所有者として勢力を拡大した。
- ③ 皇帝の権力が絶頂期をむかえるきっかけとなった。
- ④ 貴族は屯田兵制によって兵役義務を課された。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、文中の空欄 **ア** ~ **ケ** に入る最も適切な語句を記入し、あとの設問に答えよ。ただし **イ** , **エ** , **カ** は都市名, **オ** , **キ** は人名である。

1897年に起きた、中国・山東省における宣教師殺害事件が発端といわれる **ア** の運動は、やがて「扶清滅洋」を唱え排外運動と化し、1900年には清王朝の首都である **イ** ①にある列強諸国の公使館を包囲する事態に発展する。清王朝は **ア** を支持して列強に宣戦布告を行うものの最後は敗北し、1901年に **イ** 議定書が結ばれ、莫大な賠償金を支払うことになった。

このように清王朝は19世紀前半から20世紀初頭においてアヘン戦争・清仏戦争・日清戦争など、列強を相手とした戦争に敗れ、国内では反乱が相次いでいた。清王朝自身もこうした劣勢を覆すべく、政治改革を実施している。こうした政治改革の一つである光緒新政により、1905年には中国伝統の官僚登用試験である **ウ** が廃止され、その前後から清王朝では外国への留学が盛んになっていく。主な留学先の一つが日本であり、一部の留学生たちの間では革命運動が盛り上がっていった。その良い例が、中国同盟会の結成が **エ** でなされたという事実であろう。

こうして国内外で革命の気運が高まっていくなかの1908年、光緒帝が死去し当時わずか3歳の **オ** が即位する。その3年後、1911年10月に湖北省の **カ** において辛亥革命が勃発、翌年1月には中華民国が成立する。同国の初代臨時大総統(大統領)には孫文が選ばれたが、同年3月には強大な軍事力を背景に、清王朝の重臣であった **キ** が孫文に代わって、臨時大総統に就任することとなる。

辛亥革命は周辺諸国にも大きな影響をもたらした。特に清王朝の時代、理藩院が管轄する、王朝の北部・西北部を中心とした **ク** と言われる地域は、現在のチベット・青海・新疆・**ケ** ②などに相当するが、これらの地域では自治や独立へ向かう動きが高まっていった。特に **ケ** では辛亥革命勃発以降、ハルハ地域を中心に当地の諸侯たちによって独立運動が発生し、最終的には1924年に同地を中心として社会主義政権が成立している。

- 問 1 下線部㉔に関連して、清王朝の前身である後金王朝の初代皇帝であるヌルハチが創設した、女真の人々の社会制度を基盤にした軍事・行政組織(後にはモンゴル・漢族の一部にも拡大)の名称を漢字で答えよ。
- 問 2 同じく下線部㉔に関連して、清王朝についての説明のうち最も適当なものを一つ選び、その番号を答えよ。
- ① 日本の室町幕府と勘合貿易を行った。
 - ② 第4代皇帝雍正帝は一条鞭法という税制改革を行った。
 - ③ 第5代皇帝乾隆帝は、鄭和が率いる大艦隊を南アジア・アフリカに派遣した。
 - ④ 辺境地域や山地の開墾、また新大陸から伝播したトウモロコシやサツマイモなどの栽培の定着により、人口が急増した。
- 問 3 同じく下線部㉔に関連して、17～18世紀、清王朝へのキリスト教布教の方法をめぐるカトリック会派間の論争が生じたことの問題を何というか。
- 問 4 下線部㉕に関連して、清仏戦争と同時期の1885年にインドで発生した歴史的事件として、最も適当なものを一つ選び、その番号を答えよ。
- ① インド大反乱がイギリスに鎮圧され、ムガル帝国が滅亡した。
 - ② ヴィクトリア女王がインド皇帝に即位し、英領インド帝国が成立した。
 - ③ インド国民会議が発足した。
 - ④ ガンディーが指導する「塩の行進」が行われた。
- 問 5 下線部㉖に関連して、中華民国成立から2年後の1914年、第一次世界大戦が勃発するが、そのきっかけとなる、1914年6月に起きたオーストリア皇位継承者暗殺事件が発生した都市の名前を答えよ。
- 問 6 下線部㉗に関連して、15世紀ごろのチベットにおいて誕生した、活仏として大いなる権威と権力を持ったチベット仏教黄帽派の最高権威者の称号を答えよ。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、文中の空欄 ～ に適切な語句を入れ、
下線部①～④に関する設問に答えよ。

イスラーム教は、ユダヤ教やキリスト教などの影響を受けて7世紀前半に誕生した。開祖のムハンマドは、唯一神アッラーの言葉を授けられた預言者であることを自覚し、厳格な一神教をとらえたのである。しかし、彼はメッカの有力者たちから迫害を受け622年に信者とともに に移住し、イスラーム教徒(ムスリム)の共同体 ^①を成立させた。

ムハンマドの死後、預言者の後継者であり共同体の最高指導者である初代のカリフに選出されたのがアブー＝バクルである。初代から4代の までの時代にアラブ人はカリフの指導のもとに大規模なジハードを行い、東方ではササン朝を滅ぼし、西方ではエジプトとシリアをビザンツ帝国から奪い、多くのアラブ人が征服地に移住した。しかし、カリフの地位などをめぐって対立が起こり、 が暗殺されると、彼と敵対していたシリア総督の はダマスカスにウマイヤ朝 ^②を開いた。この王朝はその後も勢力を拡大し、広大な帝国を成立させた。

この帝国ではアラブ人が支配者集団を形成し、 と呼ばれる地租とジズヤと呼ばれる人頭税は、被征服地の人々がイスラーム教に改宗しても免除されることはなかった。このような排他的支配を批判する人々の支持のもとにウマイヤ朝を滅亡させ、8世紀半ばにアッバース朝を開いたのはムハンマドの叔父の子孫であった。この王朝のもとでは、イスラーム教の信仰 ^③に対する関心も高まり、聖典『コーラン』やムハンマドの言行についての伝承を扱う学問が発達し、 と呼ばれるイスラーム法もまとめられた。また、インド・イラン・ギリシア ^④などの文化とイスラーム教、アラビア語が融合した新しい文化が生まれた。この王朝は第5代カリフの治世に全盛期を迎えたが、彼の死後は帝国内に独立政権が次々と誕生し、カリフの主権が及ぶ範囲はしだいに縮小した。

9世紀はじめころからアッバース朝のカリフは、 と呼ばれるトルコ系軍人奴隷を親衛隊として重用するようになっていった。中央アジアの遊牧民であったトルコ系の人々がイスラーム教に改宗し、西アジアに移動して成立させた

セルジューク朝も **カ** を積極的に採用し、強力な軍事組織をととのえた。建国者のトゥグリル＝ベクは、アッバース朝のカリフを傀儡化^{かいらい}していたイラン系のプワイフ朝を倒し、支配者を意味する **キ** の称号を授けられた。一方、10世紀末頃にはアフガニスタンを中心とする地域にはガズナ朝が成立していた。この王朝は、軍隊はトルコ系、官僚はイラン系の人々が中心となるイスラーム王朝であり、10世紀末から富の略奪を目的に北インドへの侵入を開始した。また、ガズナ朝から独立したゴール朝はインド侵入を繰り返す、ヒンドゥー諸勢力の連合軍を破ってムスリムによるインド支配の基礎を築いた。

インドで最初のイスラーム政権は、ゴール朝の将軍であり支配地を任された **ク** がデリーに創始した奴隷王朝である。この王朝を含めデリーに誕生した5つのイスラーム諸王朝は、支配のためにヒンドゥー領主と結んだり、カースト制を利用したりした。一方、ムスリム商人や **ケ** と呼ばれるイスラーム神秘主義者の活動により、人々のイスラーム教への改宗が促進された。**ケ** の思想は、ヒンドゥー教のバクティの思想とも共通した性質を持っていたことなどから、ヒンドゥー教とイスラーム教の文化は次第に融合し北インド社会に浸透するようになっていった。

16世紀に入ると、ティムールの子孫バーブルが北インドに侵入し、イスラーム諸王朝最後のロディー朝を倒して、ムガル帝国の基礎を築いた。さらにラージプート諸国を平定し北インドを統一したのは、彼の孫の第3代皇帝アクバルである。彼は都を **コ** におき、中央集権的な統治機構をととのえた。また、非ムスリムに課されていたジズヤを廃止するなど、統治と信仰の両面でヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和をはかった。このようにインドでは、イスラーム政権のもとでインドとイスラームの文化が融合した インド＝イスラーム文化^㉔ が開花していったのである。

問 1 下線部㉔の共同体は何と呼ばれるか。

問 2 下線部㉔の王朝を支持したムスリムの多数派はのちに何と呼ばれるようになったか。

- 問 3 下線部㉔に関連し、ムスリムが信仰し実践すべき基本(義務)を漢字 4 文字で何というか。
- 問 4 下線部㉕に関連し、インドやイランなどに起源をもつ説話がイスラーム文化のなかで発展したアラブ文学を代表する散文作品の名称を答えよ。
- 問 5 下線部㉖の文化を代表する、ムガル帝国第 5 代皇帝が造営した建築物の名称を答えよ。